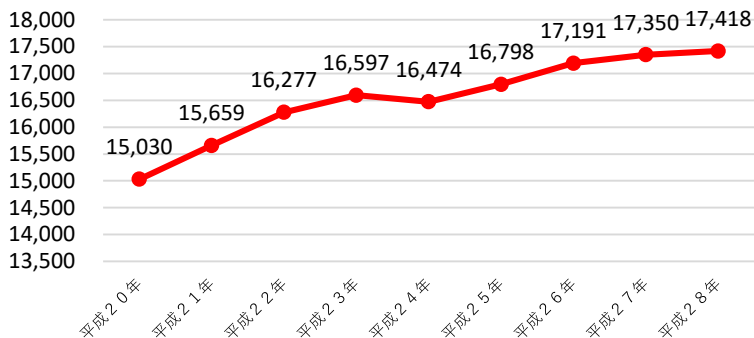


## (参考1)区の現状

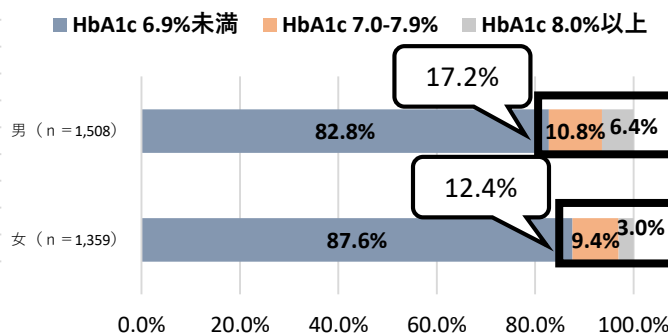
新宿区における国保被保険者の糖尿病患者数は年々増加傾向にあり、また特定健康診査やレセプトデータの結果から、通院中の男性では17.2%、女性では12.4%がHbA1c7.0%以上となっています。

### 糖尿病患者数



出典：平成28年度国保被保険者レセプト分析結果より

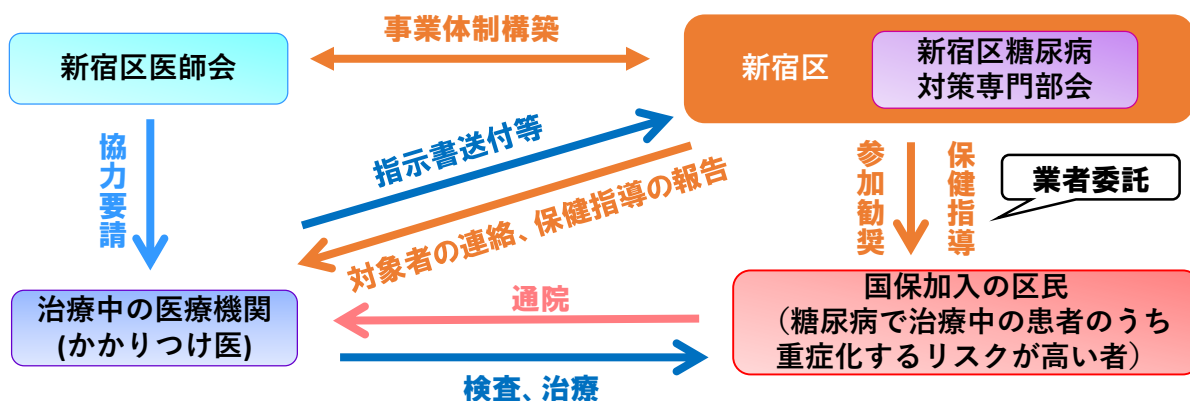
### 通院中の方のHbA1c値構成比



出典：平成29年度国保データベースシステムより

## (参考2)糖尿病性腎症等重症化予防事業の連携イメージ図

新宿区では、新たに糖尿病で治療中の患者のうち重症化するリスクの高い者に対し、医療機関と連携して保健指導等を行い、糖尿病性腎症による透析等の合併症の発症を防止する取組みを進めていきます。



## (参考3)対象者の抽出条件

新宿区特定健診受診者のうち以下の①から③のいずれかにあてはまる糖尿病治療中の者。

①HbA1c7.0%以上かつ尿蛋白(-)かつ $30\text{ml} \leq \text{eGFR} < 45\text{ml}/\text{分}/1.73\text{m}^2$

②HbA1c7.0%以上かつ尿蛋白(±)かつ $\text{eGFR} \geq 30\text{ml}/\text{分}/1.73\text{m}^2$

③HbA1c6.5%以上かつ尿蛋白(+以上)かつ $\text{eGFR} \geq 30\text{ml}/\text{分}/1.73\text{m}^2$

ただし、「1型糖尿病の者及びがん等で終末期にある者」、「認知機能障害がある者」、「糖尿病透析予防指導管料及び生活習慣病管理料の算定対象となっている者」は対象外となります。

## (参考4)事業実施までのスケジュール

